

強度行動障害にも

対応した

強度行動障害支援のA・R・E

相談支援専門研修②

主催：岡山県相談支援専門員協会 共催：おかやま発達障害者支援センター / 岡山市障害者基幹相談支援センター / 倉敷地域基幹相談支援センター / 津山地域障害者基幹相談支援センター

<研修の目的>

自閉スペクトラム症や重度の知的障害が併存し強度行動障害の状態にある方は、その特性に適した環境調整や支援が行われない場合には本人の困り事が著しく大きくなり行動上の課題が引き起こされるため、個々の特性に応じた関わり方や環境の整備など適切な支援の継続的な提供が必要です。

しかし、障害福祉サービス事業所等で受入体制が整わず必要なサービスが十分に提供されないことで同居する家族にとって重い負担となることや、受け入れた事業所等においても適切な支援を提供することができず、意欲のある支援者が苦悩・疲弊する中で本人の状態がさらに悪化するなどの実情もあります。

また、強度行動障害の状態にある方は虐待の被害や身体拘束等を受けることが多いことが明らかになっており、虐待防止や権利擁護（合理的配慮の提供等）の観点からも適切な支援を提供できる体制の整備が求められており、コーディネートをはじめとする相談支援専門員の役割に期待が寄せられています。

これら強度行動障害をとりまく現状は全国的なものであり、岡山県においても同様の状況にあること踏まえ、岡山県における相談支援の質の向上および各地域における相談支援体制の連携強化を目的として本研修を開催します。

開催日時：第1回 令和6年11月21日（木）13:00～16:45（受付12:30）

第2回 令和7年2月13日（木）13:00～16:45（受付12:30）

※第1回と第2回を1セットとして開催します 両日ともにご参加ください

会場：きらめきプラザ 705会議室 （岡山市北区南方2丁目13-1）

※駐車場は近隣のコインパーキングをご利用ください

対象者：岡山県相談支援専門員協会正会員で強度行動障害支援者養成研修の修了者

定員：15名（申し込み多数の場合は抽選）

申し込み：裏面の二次元バーコードにて（事前アンケート有）

強度行動障害にも対応した相談支援専門研修2

～ 強度行動障害支援のA・R・E ～

主催：岡山県相談支援専門員協会 共催：おかやま発達障害者支援センター / 岡山市障害者基幹相談支援センター / 倉敷地域基幹相談支援センター / 津山地域障害者基幹相談支援センター

<研修における重点目標>

- ・相談支援専門員が強度行動障害の障害特性を正しく理解し、根拠のある標準的な支援をチームで行うことを基本として、予防的な観点も含めて人材育成を進めること。
- ・相談支援専門員が強度行動障害を有する者への支援のコーディネート・マネジメントを行う上で必要となる知識を学ぶこと。
- ・強度行動障害を有する者への支援を適切に行うことは、合理的配慮の提供に他ならないことを学ぶこと。

<研修タイトル「強度行動障害支援のA・R・E」とは？>

強度行動障害の支援に照準(Aim)を合わせ、強度行動障害のある人へ敬意(Respect)をはらい、相談支援専門員の専門性を高める(Empowerment)。それらの頭文字を取りました。

単発の学びではなく、相談支援専門員がGOES ONするテーマとしての願いを込めています。

注：第1回と第2回を1セットとして開催します 両日ともにご参加ください

第1回研修会 令和6年11月21日(木) 13:00～16:45

標準的支援（発達障害支援ベースに、冰山モデルや行動の機能分析、それらの根拠に基づく支援の方略等）等に関する講義

内容：【講義】①行動障害の基礎知識

②行動の背景のアセスメントのポイント など

第2回研修会 令和7年2月13日(木) 13:00～16:45

受講者の担当する事例をもとにしたチーム支援（グループワーク）

内容：【講義】事例をもとにしたケース会議の実施

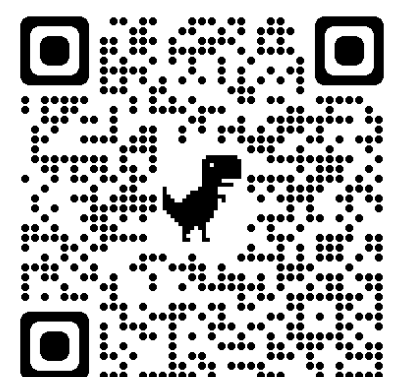
【演習】①事例紹介 ②強みの共有

③冰山モデル・ストラテジーシートの作成 ④まとめ

受講を希望する方は、
二次元バーコードから入力フォームへ進んでください

<申込期間>

令和6年9月2日(月) 9:30 ～ 9月30日(月) 17:00



<研修に関する問い合わせ>

岡山市障害者基幹相談支援センター（村上・平松）電話 086 - 259 - 5301まで